

技術・家庭科部門

☆総評☆

今年は、家庭科部門での男子の健闘ぶりが目立ちました。とうふ作りや料理、エプロン製作などにも果敢に挑戦してくれました。

全体としては、学校での学習を発展させた、技術的にもかなり難しい作品に取り組んだ人が多かったようです。また、喜ばしいことは、今回寄せられた作品の多くに、その作品を作ろうと思った動機や、製作過程、作り終えての感想などを記録したレポートがしっかりととえられていたことです。

来年も個性豊かな作品、特に技術の作品の応募を楽しみにしています。

文部大臣奨励賞

「よくんのほん」

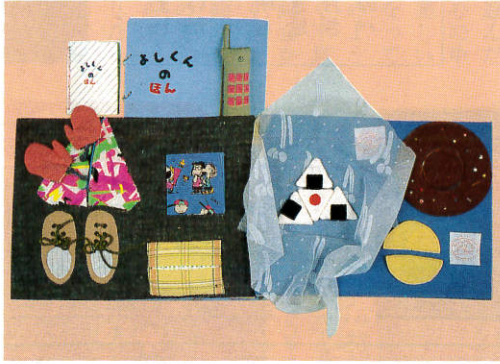
岐阜県岐阜市立長良中学校

一年所 佳保里



絵本の大好きな「よくん」こと、弟のよしかくん（一歳四か月）のために、夏休みをフルに使って作り上げた、アイデアと愛情がぎっしりと詰まった大作です。

よくんが喜んで遊べるようにと、大好きなもの、興味あるものをできる限り取り入れて、一冊の本にまとめています。いないいないばあのできる耳の大きなうさぎ、マジックテープを利用したおにぎりやドーナツ、ファスナーを使ったカバンなど、手先を動かして遊べるようなしかけが、七ページにわたって工夫されています。また、表紙の裏側のページには、現在のよくんの手型や足型が実物大で記録されています。レポートには、製作の過程や感想をはじめ、出来上がった作品で遊ぶよくんの様子などが詳しく書かれています。



まずこの作品の持つあたたかき、そして何よりも弟を想う佳保里さんのやさしさが作品の隅々まで感じられ、今回の受賞へと結びつきました。自分のアイデアを大切に、できるかぎりの工夫を重ねています。継続して記録したレポートも、製作の過程がよくわかり、努力している姿が目に見えます。この「ほん」で遊ぶよくんの反応をみているところもほほえましいですね。

優秀賞



「新聞立て」
東京都台東区立精華小 6年
片山敬史

手づくりのあたたかきが続いてくる作品です。取っ手の部分のデザインがとても工夫され、良いアクセントになっています。実用面でも優れた作品です。



「私の食事大百科」
岐阜県岐阜市立長森南中 3年
柳原佑香

栄養士の仕事に興味があり、食事についてもっと知りたいという思いで始めたポリシームたつぷりの作品です。一つ一つの調査においても、グラフや感想、次回への改善策などよくまとめています。

その他の受賞作品

◆優良賞「じしゅうのバック」(府中市立府中第一小 5年) 井上雅代「わが家の食べ物大研究」(柳津町立柳津小 5年) 竹市知世「リサイクルロボット」(ヘルパー君) (港区立白金小 6年) 嶋田和紘「レースあみ」(テリウセンター) (東南町立東南中 3年) 中道香織

◆佳作「肉魚の研究」(座間市立相模野小 5年) 佐々木真土香「バック」(杉並区立桃井第三小 6年) 土田泰子「お米の味くらべ」(茅ヶ崎市立今宿小 6年) 中村純子「バスケット」(岐阜市立長良西小 6年) 林田泉「いろいろバック」(岐阜市立長良西小 6年) 西朱梨「和裁に挑戦」(組合立境川中 1年) 高見膳由子「パジャマ作り」(組合立境川中 1年) 小川真紀「和裁に挑戦」(組合立境川中 1年) 加藤里奈「お年寄りにふれる」(組合立境川中 3年) 則武真紀子「ボランティア(小さな善意が大きな力へ)」(組合立境川中 3年) 江崎友恵



「木の電とう」
東京都杉並区立桃井第三小 5年
久保雄一朗

ユニークなデザインと、正確に組み立てられた安定感のある仕上がり、高く評価されました。くぎを使わずに、継ぎ目はすべて組んであり、技術的にもかなり難しいところですが、とてもきれいに出来ています。木を火であぶってつけた模様も、作品の雰囲気合っていて、効果的です。



「おかみと七匹の子やぎ」
岐阜県柳津町立柳津小 6年
安田実加